

29 高等学校 工業科 (電気) 実技 (問題)

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1 次の図1に示す配線図をもとに、準備された材料を使用し、あとの〈施工条件〉(1)～(7)に従って配線工事を完成させなさい。なお、図2は配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台説明図を示しています。また、準備された工具及び材料以外は、使用できないものとします。ただし、-----で示した部分は施工省略とします。

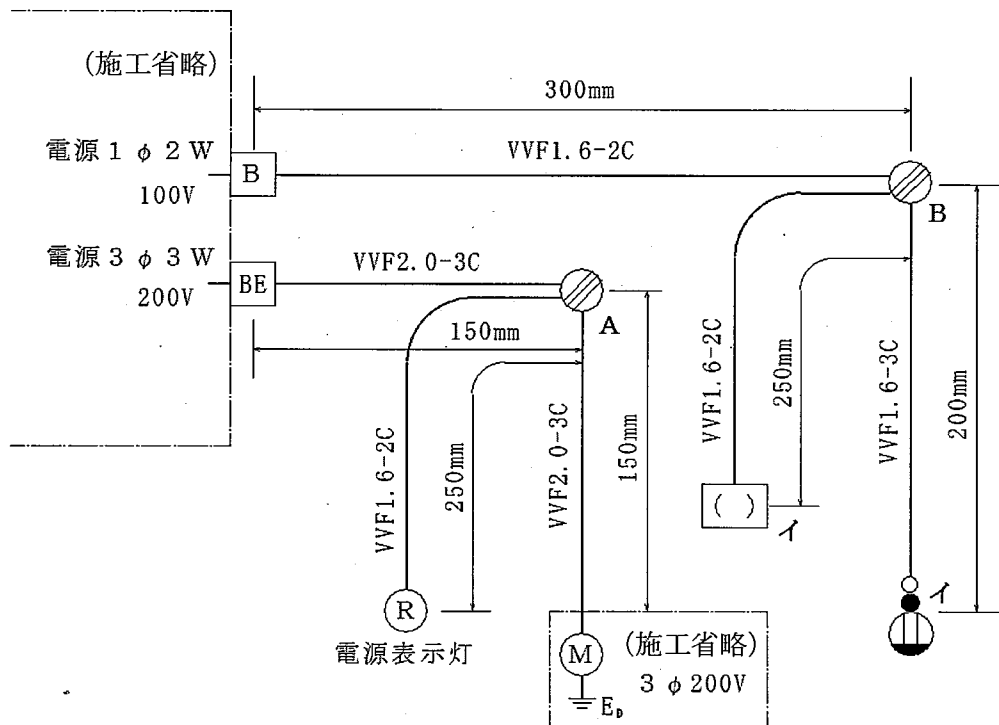


図1 配線図

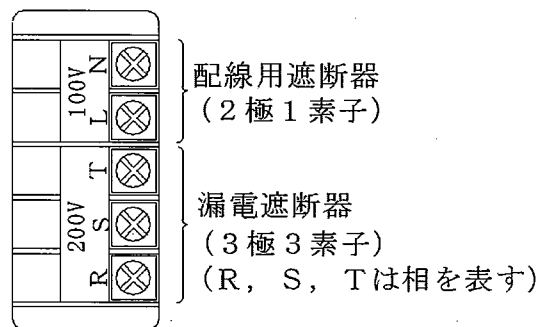


図2 配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台説明図

- 注：1 図記号は、原則として JIS C 0303 : 2000 に準拠し、作業に直接関係ない部分は省略又は簡略化しています。
- 2 (R) はランプレセプタクルを示しています。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

〈施工条件〉

- (1) 配線及び器具の配置は、「図1 配線図」に従って行うこととします。
- (2) 配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台は、「図2 配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台説明図」に従って使用することとします。
- (3) 三相電源のS相は接続されているものとし、電源表示灯は、R相とS相間に接続することとします。
- (4) 電線の色別指定(ケーブルの場合は絶縁被覆の色)は、次のア～エの条件によることとします。
 - ア 100V回路の電源からの接地側電線は、すべて白色を使用すること。
 - イ 100V回路の電源から点滅器及びコンセントまでの非接地側電線は、すべて黒色を使用すること。
 - ウ 200V回路の電源からの配線は、R相に赤色、S相に白色、T相に黒色を使用すること。
 - エ 次の(ア)～(エ)の器具の端子には、白色の電線を結線すること。
 - (ア) ランプレセプタクルの受金ねじ部の端子とすること。
 - (イ) 引掛シーリングローゼットの接地側極端子(Wと表示)とすること。
 - (ウ) コンセントの接地側極端子(Wと表示)とすること。
 - (エ) 配線用遮断器(端子台)の記号Nの端子とすること。
- (5) パイロットランプは、引掛シーリングローゼットと同時点滅させることとします。
- (6) VVF用ジョイントボックス部分を経由する電線は、必ず接続点を設けることとし、接続方法は、次のア・イにより接続とすることとします。
 - ア ジョイントボックスA部分での電線接続は、差込形コネクタによる接続とすること。
 - イ ジョイントボックスB部分での電線接続は、リングスリーブによる終端接続とすること。
- (7) ランプレセプタクルの台座及び引掛シーリングローゼットのケーブル引込口は欠かずに、下部(裏側)からケーブルを挿入することとします。